

◆2月の動き◆

国連子どもの権利委員会総括所見が出ました

1月16日と17日の2日間、日本政府より提出された定期報告(第4回、5回統合版)に関する審査が国連子どもの権利委員会(スイスのジュネーブ)で行われました。その後、国連子どもの権利委員会による総括所見と勧告が示されました。

勧告の中には「家庭環境を奪われた子ども」「子どもの代替的養護」「養子縁組」など社会的養護に関わる項目があります。「多くの子どもが裁判所命令無しに連れ出され、最大2ヶ月児童相談所に収容されている」「かなりの数の子どもがいまだに不適切な基準の施設に収容されている」「里親が、包括的なサポートや適切な訓練を受けておらず、監視もされていない」などが言及されています。

以下のサイトで日本語訳が読めます。

<https://www26.atwiki.jp/childrights/pages/319.html>

自民党議連と超党派の合同勉強会

2月は自民党議員連盟と超党派議員の合同勉強会が7回行われました。議題等は以下の通りです。

・2月5日(火) 衆議院第一議員会館

議題 千葉の虐待事案について厚労省からの報告

・2月7日(木) 衆議院第二議員会館

議題 ①「子どもの体やこころを傷つける罰のない社会を目指して～子どもに対する体罰等禁止の法改正に向けて～」セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン千賀邦夫(専務理事・事務局長)、西崎萌(国内事業部) ②法務省及び厚労省より報告

・2月12日(火) 参議院会館

議題 「子ども虐待と脳科学—アタッチメント(愛着)の視点から—」福井大学こころの発達研究センター教授 友田明美

・2月14日(木) 参議院会館

議題 「奈良市における児童相談所設置の取組状況について」奈良市長 仲川げん

・2月15日(金) 衆議院第一議員会館

議題 「中核市における児童相談所の設置について」中核市市長会 会長・伊藤香織(倉敷市長)、監事・稲村和美(尼崎市長)

・2月20日(水) 衆議院第一議員会館

議題 ①「児童虐待を早急に根絶するために～子ども家庭境域におけるソーシャルワークの重要性～」公益社団法人日本社会福祉士会・会長 西島善久

②コメント 山梨県立大学教授 西澤哲

・2月22日(金) 衆議院第一議員会館

議題「虐待対応における医療機関の役割及び多機関連携について」独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 小児アレルギー内科医長 木下あゆみ医師

高等教育無償化 授業料減免と給付型奨学金

「高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針」が関係閣僚会合で決定され、関連法案が2月12日に国会に提出されました。法案成立後は2020年4月の在学学生(すでに入学している学生含む)から実施される予定です。

内容は①授業料等減免制度の創設、②給付型奨学金の支給の拡充で、対象となる学生は住民税非課税世帯、及びそれに準ずる世帯の学生となります。

授業料等減免は、各大学等が実施した減免に要した費用を公費で負担するものです。

また給付型奨学金は国が全額を負担し、日本学生支援機構が各学生に支給します。金額は進学先が国公立の場合約35万円～80万円、私立の場合約46万円～91万円(自宅生か自宅外生かにより異なる)です。申し込み手続きは、進学前の高校3年生が今年の夏頃、すでに進学している学生は今年の秋以降に受付される予定です。

財源は少子化に対処するための施策として消費税率引き上げによる財源を活用しています。

里親制度国際シンポジウム

2月15日(金)、新宿文化センター(東京都新宿区)にて、里親制度国際シンポジウムが開催されました。入場料1000円(資料代込)。主催・里親制度国際シンポジウム実行委員会(全国里親会、日本フオスターケア研究会、IFCAなど)。

基調講演はアイデ・クーザ氏(米国ユース組織「カリフォルニア・ユース・コネクション(CYC)」エグゼクティブ・ディレクター)による「米国の当事者ユースによる里親制度等への参画」。

米国にあるユース団体はユースをトレーニングして組織し、行政や立法、関連機関に働きかけ、フオスターケアの制度や運用の改善を実現しています。今回は約30年の歴史をもつユース団体CYCが、組織の成り立ちやユースのトレーニング方法、どのような手法で行政や立法に働きかけるか等を紹介してくれました。

他に、厚労省・島玲志専門官による「日本の里親制度の現状」が紹介され、「新しい社会的養育ビジョン」や「フオスターリング機関及びその業務に関する

るガイドライン」について詳しい説明がされました。また日本のユース2名による「日本でも始まった当事者ユースの活動」、林浩康氏(日本女子大教授)がコーディネーターを務めたパネルディスカッションが行われました。

退所児童等支援事業全国セミナー開催

2月20日(水)～21日(木)、タイム24ビル(東京都江東区)にて、平成30年度退所児童等支援事業全国セミナーが開催されました。

主催・社会福祉法人全国社会福祉協議会と全国退所児童等支援事業連絡会(※)。参加対象は社会的養護施設などの退所児童の支援に関わる方、支援に関心のある方。受講料5000円。

1日目は「ネットワークを活かした退所児童等支援」と題して、宮城県のNPO法人ほっぷすてっぷ理事長森田みさ氏による「支援に関わる人たちとの連携とSNS活用による支援のあり方」と、NPO法人フェアスタートサポート代表理事永岡鉄平氏による「社会的養護施設におけるインケアのあり方」について報告がありました。

2日目は地域の実情に合わせた支援の仕組みづくりをテーマに、名古屋市自立支援システムとして、市営住宅を活用し、自立援助ホームの職員が訪問支援する名古屋市の取り組み、天理市のNPO法人おかえりによる相談事業、サロン活動、県委託の子ども自立サポート事業など天理市の取り組みを紹介しました。

※全国退所児童等支援事業連絡会(参加団体 公益財団法人全国里親会、全国児童家庭支援センター協議会、全国児童自立支援施設協議会、全国児童養護施設協議会、全国自立援助ホーム協議会、全国児童心理治療施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会、日本ファミリーホーム協議会)。

Happy mama festa (ハッピーママフェスタ) 2019

2月22日(金)～24日(日)、ナゴヤドーム(愛知県名古屋市)で開催されたハッピーママフェスタで、里親啓発活動が実施されました(共催:日本財団、全国里親会、名古屋市親和会、愛知県里親会連合会)。ポケットティッシュ、チラシ等を配布し、里親制度、フォスタリングマーク、日本財団子どもサポートプロジェクト等を広報しました。

全国里親会 里親委託等推進委員会を開催

2月25日(月)、平成30年度第3回公益財団法人全国里親会「里親委託等推進委員会」が東京都港区の貸会議室で開催されました。

主な議題は、①新委員会体制についての報告と、②平成31年度の事業計画についての協議でした。

②としては里親リクルート事業(地区里親会支援事業、事例検証等)、研修事業(フォスタリング機関対象研修、地区里親会会長・事務局対象研修)、虐待防止対策事業が協議されました。

全国里親会 ブロック長会議を開催

2月25日(月)、平成30年度第2回全国里親会ブロック長会議が東京都港区の貸会議室で開催されました。厚労大臣への提言、第2回全国里親の集い、第64回全国里親大会宮城仙台大会についての報告と、1月25日付「意見表明」について①発出状況と各自自治体の反応、②今後の取り組みについての協議と、平成31年度の事業計画について話し合いがもたれました。

第2回全国里親の集い(仙台)開催

2月23日(土)～2月24日(日) 仙台市福祉プラザにて「第2回全国里親の集い研修会 in 仙台」が開催されました。

23日は保護司を描いた映画「君の笑顔に会いたくて」の上映と、映画の原作者であり、かつ保護司でもある大沼えり子氏の講演と、里父によるパネルディスカッションが行われました(コーディネーター東北福祉大学特任教授の草間吉夫氏)。

24日は渡部純夫氏(東北福祉大学福祉心理学科教授)による講演「変わり続ける養育環境の中で～家族、社会、そして私～」の後、グループディスカッションで「家族を再構築するための、母親としての役割とは」をテーマに話し合いました。

SOS こどもの村東京・九州フォーラム開催

SOSこどもの村(福岡)の東京・九州フォーラムが以下の通り開催されました。今回はイギリスの里親ソーシャルワークの基本や、ソーシャルワーカーの役割について学びました。

- ・東京フォーラム
3月2日(土)日本財団 2F大会議室AB(東京都港区)
- ・九州フォーラム 3月10日(日)
西南コミュニティセンター(福岡県福岡市)

◆お知らせ◆

JXTG奨学助成の報告

先月締め切られた平成30年度JXTG奨学助成についての報告です。申請者594名全員の助成(一人10万円)が決定(内定含む)しました。

内訳は里親家庭117名、児童養護施設385名、母子生活支援施設92名。進路別では大学243名、専修学校等283名、短大・高等専門学校60名です。

里親だより119号発行

全国里親会機関誌「里親だより冬号」119号を2月20日に発行しました。読後のご意見、ご感想等ありましたら、全里の事務局までお知らせください。

◆今後の予定◆

全里 理事会予定

3月20日(水)に全国里親会の理事会が開催されます。2019年度の事業計画と予算について話し合う予定です。